

<生涯学習について>

【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働力人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけではなく、職業上の能力を継続的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

社会活動推進課

※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

※1: 回答者数: 342名

※2: 問1～問6まで複数回答可

問1 この1年間に次のような学習をしたことがありますか	回答件数	764
1 趣味的・教養的なこと(音楽、美術など)	154	45%
2 健康やスポーツに関すること(健康法など)	138	40%
3 子育てや福祉(介護、手話など)に関すること	88	26%
4 地域活動などの社会貢献活動に関すること	76	22%
5 仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	128	37%
6 日常生活での実用的な知識や技能(料理など)	113	33%
7 その他(次の設問で具体的に記入してください)	17	5%
8 特にしていない	50	15%

【その他】※抜粋

- ・語学(英語、韓国語、中国)、政治経済学、天文学
- ・周辺地域の文化、地形についての学び
- ・ものづくり、DIY、パソコン教室

問2 生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか	回答件数	743
1 県や市町村が発行している広報誌やチラシ	231	68%
2 県や市町村のホームページ	95	28%
3 インターネット(県や市町村のホームページを除く)	209	61%
4 公民館	56	16%
5 新聞	123	36%
6 その他	29	8%

【その他】※抜粋

- ・行政が発行している広報誌、フリーペーパー
- ・図書館、通信教育
- ・テレビ、ラジオ
- ・知人からの紹介

問3 今後学習を行う場合、どのような講座に参加したいと思いますか	回答件数	897
1 公民館など公的な機関が開催する講座	178	52%
2 大学などの公開講座	160	47%
3 地域の店舗や農園など生活に密着した場所で開催する講座	113	33%
4 工場見学・モノづくり体験など企業の専門性を生かした講座	152	44%
5 NPO・ボランティア団体などが開催する講座や体験活動	84	25%
6 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座、教室	120	35%
7 通信教育や放送大学の講座	67	20%
8 その他	7	2%
9 特に参加したいと思わない	16	5%

【その他】※抜粋

- ・病院が行う健康や病気に関する講座
- ・リラックスしながら考えたり話したり(会話として)できる互いの知恵から創られる発展的な場

問4 今後学習を行う場合、どのようなことを学習したいと思いますか	回答件数	961
1 地域の歴史や伝統などに関すること	88	26%
2 地域課題(少子高齢化、防犯・防災、環境など)の解決に関すること	90	26%
3 趣味的・教養的なこと	225	66%
4 健康やスポーツに関すること	162	47%
5 子育てや福祉に関すること	101	30%
6 料理やパソコンなど日常生活に役立つこと	150	44%
7 仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	134	39%
8 その他	6	2%
9 生涯学習に関心が無い	5	1%

【その他】※抜粋
 ・インターネット活用について
 ・科学リテラシー
 ・外国語(会話)力の更なる向上
 ・DIY、ものづくり

問5 学習によって身につけた知識・技能や試験をどのように生かしていきますか	回答件数	556
1 地域活動やボランティア活動に生かしている	80	23%
2 子育てや教育に関する活動で生かしている	84	25%
3 指導者として、他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	27	8%
4 仕事や就職の上で生かしている	134	39%
5 家庭や日常生活に生かしている	196	57%
6 その他	7	2%
7 特に生かしていない	28	8%

無回答 36 10.5%

【その他】※抜粋
 ・同じ志の者との楽しい会話を演出する等、自分の人生の楽しみのため。
 ・卓球教室に継続的に参加し、基礎体力や体調管理に生かしている。

問6 学習で得た知識や経験を地域活動やボランティア活動などに効果的に生かしていくためには、行政はどのような取組や支援を行っていくべきだと思いますか	回答件数	832
1 地域活動の中心となり活躍できる人材育成の提供	166	49%
2 住んでいる地域の良さや課題を考える講座の提供	132	39%
3 単に講座を受けるだけでなく、受講者も企画などに関わることができる仕組みづくり	183	54%
4 NPOや企業と連携した社会貢献活動など体験メニューの充実	106	31%
5 表彰制度など学習成果が公的に評価されるための仕組みづくり	64	19%
6 学習成果を発揮できる場や機会(地域活動やボランティア活動への参加など)の情報の提供	169	49%
7 その他	12	4%

【その他】※抜粋
 ・地域活動の世話役の若返りと兼務の解消のための人員配置
 ・地域活動やボランティア活動への登録、派遣制度の整備
 ・行政が必要が高いと考える地域活動・ボランティアへの金銭的な支援の強化
 ・学生は時間はあるが、ボランティアを無償でするほど生活に余裕はないのでバイトをしてしまう。生涯学習や地域貢献の勉強には必要なので有償ボランティアに対する理解がほしい。

1 ある	41	12%
2 特にない	301	88%

【ご意見】

○地域貢献・社会貢献活動

・地域活動や社会貢献活動が形骸化しているところがあるので、意欲のある人間を寛容に受け入れる地域社会活動になればいいと期待します。(60代/男性)

・グローバル化に向けた、地域での交流の場の創設、定置でもよし、不定値でもよし、地域参加の機会を設ける。近くて、安くて、楽しい内容でなければ人は集まらないので工夫が必要です。町内会にボランティア外国人の企画を入れることもよし。(50代/女性)

・地域活動に関しては、居住する市町村に限らず、県内全市町村あるいは隣県も含めた広域的な活動も必要と考えます。(70歳以上/男性)

○地域社会との関わり方

・生涯学習を推進していくための一つのツールとして地域社会とのかかわりが重要だということならば、現在行っている体育祭など運動を中心とした自治会活動の在り方を見直していく必要があると思います。(それも地域住民の声には限りがあるので行政の力で半ば強制的に)(60代/男性)

・子育てが一段落したので社会参加をしたいと思いますし勉強もしたいと思っています。(50代/女性)

・気軽に参加でき、地域の人との交流の場になっていろんな意味で、安心して暮らして行ける世の中になって欲しい。(40代/女性)

○生涯学習に取り組める環境づくり

・学習したくても仕事があったり、子育てしている人には、時間が取れないと思うので、一時保育を準備したりして欲しいと思います。全ての会社が好意的ではないことも念頭に置いて欲しいです。(30代/女性)

・学びの力、学ぶ姿勢が問われていると思います。学習に見返りは求めていないが成果の『見える化』も大事だと思います。心持ちがある人は人から言われなくても増進されていくが、あとは『きっかけ』の問題、また各自の環境に左右されると思います。(40代/女性)

・介護講座を受講の際、参加者リストへの記載漏れと、他の参加者の方に「あなた間違っ入ってきているんじゃないの?」と言われ臆して、入場できませんでした。この他にも、公共媒体で広く参加を呼び掛けている市民講座などで、常連(とその方本人が思い込んでいる)の方がこのように取り仕切りのようなことをする場合があります。このような現状は改善しないと、せっかく企画した生涯学習の機会が生かされないと、思います。(40代/女性)

・情報が少ない、手元に届かない。(60代/男性)

・今の世の中、新しい制度や環境の変化などもあり、生活する為には、多かれ少なかれ学習が必要となってきたと思います。改めて教室などと言うところではなく、既存の建物などを活用し、家に引きこもりがちで孤独になりやすい人に昔の井戸端話のような軽い気持ちで参加できる環境を作ってほしい。(60代/女性)

・冒頭に「職業上の能力を継続的に高めていくこと」とあるが、皆が学習できる環境を整えてほしい。恵まれた環境の人だけが利用できる状況の生涯学習なら、格差が広がるだけです。(30代/男性)

・私は自治体の生涯学習講座で指導者として語学の指導を多数の公民館でしております。が、公民館側の講師や受講者らへの姿勢(挨拶を含めて)が不味く残念です。(50代/男性)

○生涯学習機会に関する要望

・まだ現役で働く私としては、平日に生涯学習が開催される事が多く、できれば土日祭日に開催してほしいと思います。(60代/男性)

・学習意欲はかなり高いと思いますが、具体的に考える機会や材料が乏しいのが悩みです。生涯現役、積極的に外に出たいと思います。そんな高齢者は多いと思います。(60代/男性)

・生涯学習はしたくても時間がないというのが現実だと思う。しかも、知らない人が多いと思うので、子供達の生涯学習の機会を増やしてほしい学校で勉強する時間が増えてできる時間が減ったかもしれないけど経験することで、大人になったとき生涯学習ができる場所があることを知れると思う。(20代/女性)

・夜にも時間を設けてほしい。(30代/女性)

○参加したい講座や希望する講座のあり方

- ・やたら近寄り難いテーマの生涯学習講座が多い。もっと気軽に参加出来るテーマと場所の提供を考えるべき。社会貢献活動だけだと疲れる。(60代/男性)
- ・高齢化なので、ボケ防止、独り暮らし見守りなど、参加して現場で活かせる講座が大切と思う。(40代/女性)
- ・趣味とかでなく、先月の世の中の動きを簡単に解説する講座があればと思います。(40代/女性)
- ・一般的なテーマが多く、魅力的にかける面がない気がする。(70歳以上/男性)
- ・県民ミュージカルを企画してほしい。(40代/女性)
- ・県下の神社(神社本庁包括)の、謂われ、歴史、地域社会とのつながりなど歴史講座を定期的開催して欲しい。(70歳以上/男性)
- ・落語の講座を以前企画したが好評でした。(30代/男性)

○関係機関との連携

- ・生涯学習は「図書館」と切っても切れないものです。「図書館」との連携を密にして欲しいし、相互で協力しあって活動して欲しい。「図書館」には読書支援ばかりに注力するのではなく、学習支援もしっかり担って欲しいのです。(50代/女性)
- ・教育機関や企業と自治体が密に連携して、生涯学習の受け皿を広げていく必要がある。専門的な内容を求めるとなると、短期の公民館の講座では物足りず無理がある。(60代/女性)

○学んだ成果の活用

- ・ただ暇つぶしで参加するのか、その先に何かを求めるのかによって違ってくると思いますが、問5 問6のような熱心に学べば、その先に何かが見えてくるようなものであれば、私の場合は嬉しく思います。年齢で判断するくらいがありますから中々難しい問題だとは思いますが、、、。(70歳以上/女性)

○行政に望む支援

- ・定年退職者への道となるような講座(ボランティアへの道等)の開設を区市町村レベルでお願いしたい。(70歳以上/男性)
- ・行政機関が主導する「生涯学習」は、「老後対策」の域を超えてはいない。大学など地域の教育機関と密接な連携により、志願者への門戸を広げて欲しい。(70歳以上/男性)
- ・行政は生涯学習によく取り組んでいると思います。(50代/女性)
- ・健康などで、高齢者が相談しやすい施設の開設。(50代/男性)
- ・独自の補助金など。(30代/男性)
- ・自治体の主催で、参加者が複数回受講するような講座では、短時間でも平和学習や飲酒運転撲滅、薬物使用禁止、障がい者差別撤廃などの講義の時間をカリキュラムに組み入れてほしいです。(50代/男性)
- ・パソコンの初歩的な技術ではなくて、プログラミングやウェブデザインなど専門的なことも学びたいが、受講料が高くて参加できない。県のウェブデザイン講座などの受講資格を再就職を目指す若手とシニアにも開放してほしい。(60代/男性)

○その他

- ・生涯といわれるくらいなら、母親の立場、父親の立場、おばあちゃんの立場など、子を育てる大人の教育、取り組みを考えてみる必要があると思う。(40代/女性)
- ・これから年金も支給額が減ったり、遅くなったり、支出が増えたり、年金だけで生活できないと危惧されます。生涯学習はボランティアだけでなく、ちゃんと仕事としてできるものも増やすべきです。経費削減で無報酬のボランティアを育成したいのは分かりますが、それでは成り手がないと思います。(40代/女性)
- ・経験したことが活かせる制度作り。例えば、介護を経験した人には積極的に補助金を出して、介護職についてもらう等。(30代/女性)
- ・少子高齢化による労働力人口の減少とあるが、生活環境の大きな変化に適応した学習課程を適宜見直し改善する必要があると思います。(50代/女性)
- ・スキルを紹介できる体制づくり(60代/男性)
- ・少子高齢化の時代、団塊の世代が多数現役を終え、年金生活をしています。まだ働ける体力・気力はあるのに、再就職先がないのはいかがなものか、県は「70歳現役応援センター」を5年前に開設しているが、形式的で本気度が見えません。効果的な施策で高齢者が稼働できる場を事業所などと連携する必要があると思います。平成24年開設からの結果はどうか、機能しているか否か、費用対効果など検証すべきです。(60代/男性)
- ・「生かす」は「活かす」じゃないですよ？私の勘違いでしたらすみません。(40代/女性)

○「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

◇県内の美術館・博物館や大学・県の施設等が実施している学習 情報

◇様々な機関・団体のホームページとリンクして、ボランティア 活動やスキルアップにつながる情報を発信

URL : www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp

ふくおか生涯学習

検索



○お問い合わせ先

人づくり・県民生活部社会活動推進課

NPO・ボランティアセンター

TEL:092-631-4416

E-Mail : nvc@pref.fukuoka.lg.jp